

# 月刊 サンエスウォッキング

Vol.50

**[CARRADICE]** 1932 年から 90 年 自転車用バッグを作り続けるイギリスのメーカー

MADE IN BRITAIN < Handcrafted in NELSON, ENGLAND >



CARRADICE

## <キャラダイス ストーリー>

英国イングランド地方ランカシャー州ペンドル自治区の町「ネルソン」にある自転車用バッグメーカーの Carradice = キャラダイス。この町「ネルソン」はヴィクトリア時代(1837~1901年)の工業都市で、世界最大のコットン=綿織物生産地でした。しかし1980年代にはすべての綿工場が閉鎖されます。キャラダイスは1880年に綿工場として建てられた建物で、1932年に Wilf Carradice 氏が、彼の母親の空き家となっていた時にそのベッドルームで初めてキャラダイスバッグを作り、その後世代が変わり3代目の今に至るまで同じ場所で自転車用バッグを作り続けています。キャラダイスが何故この地で生まれたか、それはバッグに不可欠なしっかりと織られた伝統的な綿生地がその地にあったからだと伝えられています。



ヴィクトリア朝時代に良質な綿(コットン)がインドから船でリバーポールに渡り、運河を船で運ばれてきた綿織物の工業都市「ネルソン」。その地に併む元綿花工場がキャラダイス社屋。ネルソンに根付く工員さん達の手で作られています。

## <キャラダイスの個性>

何と言っても伝統的な手作りのコットンダックサドルバッグが代名詞です。またサドルバッグの揺れを最小限に抑える固定力と簡単な着脱を実現したサドルレールに取り付けるサドルバッグラックも他にはない優れた製品です。何よりも、今でも同じ場所で手作りで自転車用バッグを作り続けていること、その事実自体が、キャラダイスの個性に他ならない、ということでしょう。



## <バイクパッキングシリーズ>

伝統のキャラダイスがバイクパッキングシリーズを発表しました。開発経緯について社長のデイビッドは言います。「90年前からサドルバッグを作り続けているので現在流行のバイクパッキングやライトウェイトツーリングの GrandFather と言える存在ですが、よりモダンな生地やスタイルへの要望から、いくつかのプロトタイプを作り、強靭な素材や環境保護といったことに対応し且つ、バッグの揺れを抑え片手で着脱可能なサポートブラケットを開発しました。シチリア島での450km、8000m高低の4人でのテストライドで最終微調整を行い、満足の行く製品が仕上りました。」



イタリア南部のシチリア島でのテストライドでは3000mを越えるエトナ火山も含むコースを4人で走破し、バイクパッキングシリーズのプロトタイプを確認。最小限の取り付けストラップの数で簡単に着脱できバッグの揺れも抑えるサポートブラケットシステムの有効性が実証されました。

デイビッドは、ラックを追加することなく自転車にバッグを取り付けられることの利点を認めつつも、荷物を集約したシンプルなパニアバッグが良いという思いもあるようです。また伝統的なキャンバスはクラシック派やモダン派まで常に必要とされているものもあります、と。

## <90周年限定モデル>

1932年から2022年までのキャラダイス90周年を祝う個別番号付きの限定バッグが最も伝統的なモデルから発表されました。

リノカットアーティストで有名な Dave Flitcroft 氏との共同制作の記念バッジが付き、栗色のなめし革や美しい英国の名門テキスタイルによるプリントコットンの裏地が付いています。キャラダイスバッグが90年にも渡って経験してきたすべての自転車の冒險、自転車の旅を思い起こさせてくれます。



社内に「The Original British Bicycle Bag Company」の文字が掲げられ、その前には90周年限定バッグが見えます。キャラダイスが90年間この町にとどまり成長してきたことは町への大きな功績でもあります。

キャラダイスバッグのネーミングの殆どは常日頃からサイクリングで通過する地元の町や村の名前から採っているそうです。東京サンエス本社周辺の御徒町(おかちまち)は通称であり現在は地域名ではありませんが、存続を込めて Okachimachi Bell でも作りましょうかね・・・。